

## ★新型コロナウイルス感染症の検査

現在行われている新型コロナウイルスの検査には、大きく3つの検査があります。

- ① PCR 検査
- ② 抗原検査
- ③ 抗体検査

	① PCR 検査	② 抗原検査	③ 抗体検査
検査対象	コロナ遺伝子	ウイルス抗原	抗原に対する免疫タンパク
検査時間	数時間	30分	10分
意味	現感染の有無	現感染の有無	感染の既往 免疫力
精度	高い	やや低い	やや低い

- ① PCR 検査はコロナウイルスの遺伝子そのものを調べるのに対して、
- ② 抗原検査はウイルスに特徴的な「抗原」と言われるたんぱく質を調べることで、PCRと同様、「今、感染しているかどうか」を診断できます。それに対し、
- ③ 抗体検査は、抗原が体に入ると免疫の働きで何日か経ってからできる「抗体」という物質を調べることで、「過去に感染したことがあるか」を判断するものです。（少量の血液で検査します）

PCR 検査は保健所を中心に行われてきましたが、検査を希望する需要に対して、十分な検査が行われていない問題がありました。国は5月13日に、「抗原検査」用のキットを承認し、保険適用を開始しました。さらに5月15日には「抗体検査」について、1万人規模での調査を早ければ来月にも始めると発表しました。

## ★抗体検査の意味

抗体は主に、感染初期から現れる「IgM抗体」と、発症後1週間以上過ぎた後に増える「IgG抗体」があります。新型コロナウイルスは感染しても症状が出ない不顕性感染が多く、後からPCR検査を行ってもわからない場合がありますが、抗体は一度体内にできると長時間残るので、感染した既往がわかります。

海外では免疫証明として活用する動きがあるほか、PCR検査を受けられなかった人や、自店の営業再開を前に「安心材料」として使いたい人たちの需要があると考えられています。また、大規模な抗体検査は、地域での感染率の程度、集団免疫の可能性に用いられます。

## 新型コロナウイルスの検査

